平成 28年度 第5回美術館セミナーの開催について

時 H 1

2 場 所

平成29年2月18日(土) 10:00~17:00 茨城県近代美術館 講座室 県内の幼稚園,小学校,中学校,高等学校の教員(30名) 川瀬 伊人 氏 (日本画家) 3 参加者

講 4 師

活動内容 5

受付 (講座室前) $9:00\sim10:00$ 講義 (講座室) $10:00\sim11:00$

「日本画の画材説明, 使い方」

 $11:00\sim12:00$

実技(講座室) 「『たらし込み』の技法を学ぼう」 昼食・展覧会自由鑑賞 実技(講座室)

 $12:00\sim13:00$

 $13:00\sim17:00$

「『たらし込み』の技法を使って作品をつくろう」

※鑑賞会を含む。アンケート記入

【講義】

日本画で使用する岩! 絵具,新岩絵具,水干 絵具など違いについて 詳しく説明をいただき ました。用紙に関しては、参加者からの質問 おあり、植物の名前が



ホワイトボードで詳しく説明



質問にも丁寧に回答してくだ さった



【実技】 一つ一つの行程 に参加者を講師の回り に集め、手元を見せな がら丁寧に説明いただ きました。

絵具を溶く段階で は、非常に時間がかか の感想があり。特に白 色の胡粉を溶くため 世にでいいでは、 の下するばくない。 でいいでは、 がにぶででで、 がにぶででで、 ででででで、 ででででが、 ででででが、 のの、、な伸巻、では、 ででは、 程では、「中指が痛い」 「中指がけいれんする」 との声がありました。



手元を見せながらの説明



中指で絵具を溶くところ



胡粉を溶く様子



金泥に熱を充て、光を増す様子 を見せている様子



着彩の様子



一人一人に丁寧に指導



参加者の完成作品



片付けの様子

今回の実技では、絵を描くまでの下準備に時間がかかることを参加者に知ってほしかったため、胡粉を溶く工程を省かずに行いました。参加者から、「日本画は奥が深い」「大変勉強になった」等の感想があり、長い1日でしたが、有意義な時間となりました。